

「世界自閉症啓発デー」に当たっての文部科学大臣メッセージ

このたびの地震や津波でお亡くなりになられた方の御冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心より御見舞い申し上げます。一人でも多くの不明者の方の御無事が確認され、被災地域が一日も早く復興されますことを祈念いたします。

本日4月2日に、平成19年12月に国連において制定された「世界自閉症啓発デー」は4年目を迎えました。また、日本では本日から8日までを「発達障害啓発週間」として、自閉症をはじめ発達障害についての正しい理解の啓発に、国民の皆様と共に取り組むという活動を行っております。

文部科学省としても、幼稚園、小学校・中学校、さらに高等学校等に在籍している、自閉症をはじめ発達障害のある子どもたち一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な教育支援を行うことができるよう、関係機関が連携した特別支援教育の体制整備を進めているところです。

この「世界自閉症啓発デー」を契機に、すべての教育関係者が、自閉症をはじめ発達障害のある子どもたちやその保護者の方々の気持ちに寄り添った支援について真摯に考え、実践していただきたいと強く願うとともに、すべての子どもたちが、生き生きと充実した学校生活を送ることができるよう、文部科学省としても一層の努力をして参ります。

平成23年4月2日

文 部 科 学 大 臣

高 木 義 明